

# TSS Eee..SECURE 勤怠管理サービス



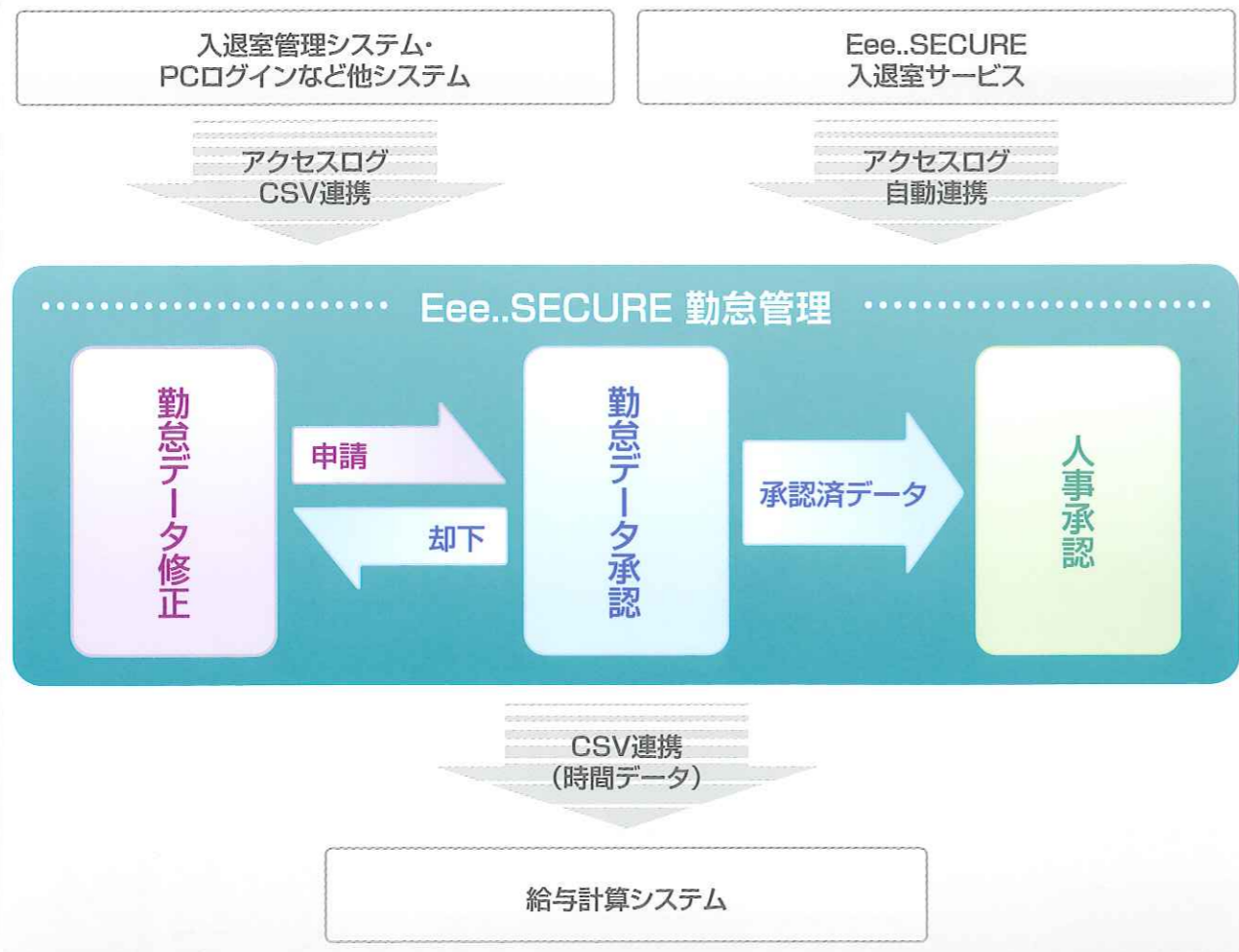
7つの特徴

◆打刻時間は入退室管理システムなど他システムのアクセスログを利用するので…

- ① 打刻のためのハードウェアの購入が不要
- ② 利用者の打刻のための動作が軽減
- ③ 正確な労働時間の把握が可能
- ④ 入退室管理システムやPCログオンなどの既存システムを有効活用可能

◆その他

- ⑤ 煩わしいタイムカードの集計作業が不要
- ⑥ クラウド(ASP)型なので、導入・運用が手軽に
- ⑦ レポートジェネレーターにより自由に勤怠時間に関わる様々なレポート作成が可能



# TSS Eee..SECURE 勤怠管理サービス



## Eee..SECURE 勤怠管理とは

入退室管理システム等のアクセス履歴を活用し、勤怠時間管理に必要な一連の流れを提供するクラウドベースのサービスです。タイムカードに代わり入退室管理システム等の最初のアクセスを出勤、最後のアクセスを退勤の打刻時間として抽出・表示し、直行直帰、出張、遅刻理由の記入などの修正を行い、上長の承認・却下のフロー機能を備え、給与システムにCSVで時間データをエクスポート、各種のレポート出力までを提供するサービスになっています。

### 安全に関するご注意

設置工事については、必ず販売店にご相談の上、正しく設置して下さい。ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

### カタログについてのご注意

- このカタログの情報は、2011年3月現在のものです。
- このカタログの情報は、予告なしに変更する場合がありますので予めご了承下さい。
- このカタログで使用されている写真は、若干実物とは異なる場合があります。
- 記載されている会社名、サービス名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本誌記載事項は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〈サービス提供〉



株式会社 セキュリティデザイン

〒107-0052 東京都港区赤坂2-18-14 赤坂STビル  
TEL:03-6230-3021 FAX:03-6230-3023  
大阪オフィス:06-6387-8808 / 福岡オフィス:092-400-7147  
<http://www.security-d.com>

〈販売パートナー〉

## Eee..SECURE 勤怠管理サービスなら、セキュリティと業務効率を同時に改善できます。



経費削減

不正防止

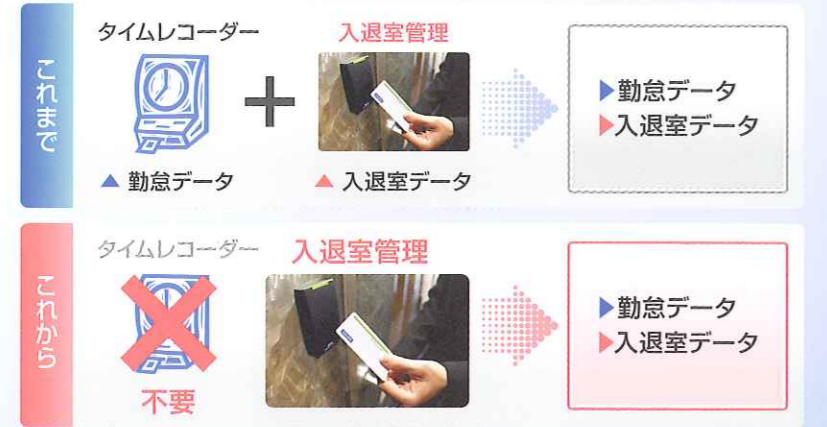
スムーズ

業務効率UP!

TSS Eee..SECURE 勤怠管理サービス 7つの特徴

### 1 打刻のためのハードウェアの購入が不要

出勤・退勤の打刻時間は入退室管理システムなどの外部セキュリティシステムへのアクセス履歴を活用しますので、タイムカードなど打刻のためのハードウェア(機器)は不要となります。出勤・退勤時間を把握するための機器を購入・設置するのは、お金とスペースの無駄遣いです。会社への出入で常に使用するセキュリティシステムや業務で必ず使用するPCログオンの様な既存のセキュリティシステムを活用することで、コスト増を回避しスペースの有効活用が可能となります。



### 2 利用者の打刻のための動作が軽減

これまで利用者は毎朝会社内に入るため入退室管理システムにカードをアクセスし、更に入口でタイムカードを打刻(又はタイムカードへカードをかざす)する最低2つの動作が必要でした。これからは入退室管理システムにカードをかざすだけで、入退室の認証も勤怠時間の打刻の可能となり、動作の負担が減ります。



### 5 煩わしいタイムカードの集計作業が不要

日々の勤怠データをデータセンターで蓄積・自動集計してWeb上で確認することができますので、煩わしいタイムカードや手書き帳票の集計作業が不要になり、計算ミスや転記ミスなどを大きく減少させ、管理担当者の業務効率の大幅な向上に役立ちます。各社員はWeb上で自身の勤怠状況を確認し日次データの修正・申請ができ、上長はWeb上で承認・却下ができ各社員の勤務状況の確認もでき管理効率も向上します。

### 6 クラウド(ASP)型なので、導入・運用が手軽に

EeeSECURE勤怠はクラウド(ASP)型サービスですので、お客様はサーバ等の専用インフラを用意する必要はありません。初期費用は安価でスタートすることができます。サーバを購入する必要もないため管理コストも低く抑えることができます。クラウド型サービスなので、サーバ管理やソフトのバージョンアップはデータセンター側で行われ、お客様は月額費用をお支払い頂くだけでこうした煩わしい作業や追加費用の負担から解放されます。

### 3 正確な労働時間の把握が可能

打刻時間に入退室管理システムやPCログオン等のセキュリティシステムのアクセス履歴を利用しますので、社員1人1人に配布されているカードによるアクセスが基準となることになりすましによる打刻が難しくなります。更に、入退室やPCログオンで生体認証を使用していれば、なりすまし打刻はほぼ不可能になり、不正打刻による損害を最小限にできます。セキュリティシステムのアクセス履歴なので、労基署に疑われる打刻後のサービス残業についても扉の出入りやPC利用記録が基準となるので、正確な会社内滞在時間を記録でき余計な疑いを防止することができます。

### 4 入退室管理システムやPCログオンなどの既存システムを有効活用可能

これまでコストでしかなかった入退室管理システムやPCログオンなどのセキュリティシステムを業務の効率化に役立てることができます。これまで、セキュリティシステムは収益性を上げることもできずコスト削減などの業務効率化にも貢献せず生産性の観点からは好ましくないものと考えられてきました。しかし、本サービスではセキュリティシステムをベースデータ収集に活用しますので、セキュリティシステムが間接的に勤怠に関わる業務の効率化に貢献するものになります。



### 7 レポートジェネレーターにより自由に勤怠時間に関わる様々なレポート作成が可能

EeeSECURE勤怠では、お客様自身で要望するレポートを作成するためのツール(レポートジェネレーター)を用意しました。月別比較、部署別集計などツールを利用してシステムのお仕着せでないレポートを作成してご利用ください。また、業務用PCがない社員の方のために携帯端末からの勤怠データ修正・申請も可能となっております。